

安倍首相辞任。次の舵取りは誰に？

文責 学校長



～コロナ対策・経済再生・外交問題・五輪開催など問題山積～

先週金曜日(28日)の突然の辞任会見に号外も出るほどに日本列島に衝撃が走りました。次の首相は一体誰に？

1 武陵祭に向けて団・クラスでの協力を。台風9号にも警戒を。

週末の土・日に予定されている武陵祭に向けて準備・練習が始まりました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止策に加えて猛暑の中の熱中症対策もしながらの開催となります。様々な制約の中で生徒諸君が**新たな形の武陵祭**を見事に作り上げ、団においても、クラスにおいても「**心をひとつに**」して思い出に残る武陵祭になることを期待しています。

ただ、**台風9号**も勢力を強めながら週の半ばに接近する予報が出ていますので、こちらも注意が必要です。

2 「高校生のまちづくり参画事業報告会」が開催されました。

8月27日(木)に**武雄市役所・市民ホール**において武雄市主催の「高校生のまちづくり参画事業報告会」が開催されました。この事業は、高校生の視点でまちづくりへの参画を目的に昨年度から始まった取組です。今年も、コロナの影響で、夏休み期間も短く制約された中での活動となりましたが、それぞれのグループに分かれて若く斬新な視点での取り組みが多く、それぞれ独自の提言をまとめた『**アクションプラン**』を披露しました。当日は、**小松市長、松尾教育長**もご出席され、市民ホールでの発表という緊張する雰囲気の中、5グループとも見事なプレゼンテーションでした。



参加したメンバーは、①佐賀の温泉伝えた隊2②武雄革命隊③まちづくりPR隊④映景推麗！今ドキ女子♡⑤Six BONDSの5グループ27名です。発表内容の詳細については、武雄市報やケーブルワンの番組をご覧ください。

3 今週のお話成語・・・「推敲」

【問題】下記の由来の説明にある「**科挙**」の試験とは？

詩や文章などの語句を何度も練り直しよりよいものにすること。(出典：『唐詩紀事・賈島』より)

【由来】**賈島**(かとう)が**科挙の試験**を受けるために都へ出てきた。驢馬に乗りながら詩を作っていたところ、「僧ハ**推**月下ノ門」という句を思いついた。「**推(おす)**」を「**敲(たたく)**」に改めようかと思った。手で**推**したり**敲**いたりする身振りをして考えたが、なかなか決められずにいた。すると、うっかり都の長官**韓愈**(かんゆ)の列にぶつかってしまった。そこで、賈島はぶつかってしまった理由を詳しく話した。韓愈は言った。「『**敲**』の字が良かろう」と。とうとう、二人は馬首を並べて進みながら詩を論じ合った。というエピソードからこの言葉ができました。(参考：「中国故事街」より)

題李凝幽居	閑居少隣並	鳥宿池邊樹	過橋分野色	暫去還來此	幽期不負言
李凝(りぎょう)の幽居(ゆうきよ)に題す	閑居(かんきよ)隣並(りんぺい) 少ない	草徑(そうけい) 荒園(こうえん) に入る	鳥は宿る池邊の樹	僧は敲く月下の門	橋を過ぎて野色(やしよく)を分かち
石を移して雲根(うんこん)を動かす	暫く去って還(ま)る	幽期(ゆうき)言(げん)に負(そむ)かず	橋を過ぎて野色(やしよく)を分かち	石を移して雲根(うんこん)を動かす	暫く去って還(ま)る

4 今週の名言・・・田原総一郎氏(滋賀県出身)の言葉です。

○社会に出たら正解がないのだから、正解を探したって意味がない。鈍になってチャレンジをする。そして諦めず、根気よくチャレンジを重ねる。そこで初めて運が開けてくるのです。

【解説】歯に衣着せぬ物言いで指示を得てきた、**ジャーナリストのカリスマ**として報道界をけん引し続けている田原総一郎氏の言葉です。その一貫したジャーナリズムに私自身も魅かれ田原氏が司会を続ける『朝まで生テレビ』(毎月最終金曜深夜放送)を1987年の放送開始から33年間見続けています。**石破茂・猪瀬直樹・舛添要一・片山さつき・福島瑞穂・辻本清美**など後に政治の中心として活躍することになる若きパネリストの**機関銃のごとき弁術**とまとめ役である田原氏の言葉に朝まで夢中になっていました。政治・経済・社会・教育・外交などに興味のある人必見です。

【田原総一郎について】1934年、滋賀県生まれ。60年、早稲田大学卒業後、岩波映画製作所に入社。64年、東京12チャンネル(現テレビ東京)に開局とともに入社。77年にフリーに。テレビ朝日系『朝まで生テレビ!』『サンデープロジェクト』でテレビジャーナリズムの新しい地平を拓く。98年、戦後の放送ジャーナリスト1人を選ぶ**城戸又一賞**を受賞。早稲田大学特命教授その他を歴任する(2017年3月まで)。(参考：公式HPより)

5 入試によく出る漢字・・・『一字訓ベスト400』から・その17 いくつ読めますか？

- | | | | | |
|------------|--------------|------------|------------|------------|
| ① 憚る (忌憚) | ② 曳く (曳航・曳山) | ③ 遺す (遺言) | ④ 絞める (絞殺) | ⑤ 絞る (豆絞り) |
| ⑥ 随う (随行) | ⑦ 順う (願望) | ⑧ 強いる (強制) | ⑨ 障る (支障) | ⑩ 妨げる (妨害) |
| ⑪ 聳える (聳立) | ⑫ 囲む (囲炉裏) | ⑬ 較べる (比較) | ⑭ 繁る (繁茂) | ⑮ 鎮める (鎮静) |
| ⑯ 凌ぐ (凌駕) | ⑰ 悦ぶ (悦楽) | ⑱ 委ねる (委任) | ⑲ 耗る (消耗) | ⑳ 膨れる (膨張) |

6 今週の一冊・・・中勸助の『銀の匙』(新潮文庫・岩波文庫・角川文庫)です。

古い茶筆筒の抽匣(ひきだし)から見つかった銀の匙。忘れられていたこの小さな匙は、病弱だった私の口に薬を入れるため、伯母さんがどこからか探してきたものだった……。その愛情に包まれた幼少期、初めての友達・お国さんとの平和な日々、腕白坊主達が待つ小学校への入学、隣に引っ越してきたおけいちゃんに対する淡い恋心、そして、少年から青年に成長するまでを細やかに回想する自伝的作品。(参考：新潮社HPより)

【解説】アニメやコミックの『銀の匙』と同名の小説ですが、全く関連はありません。伝説の国語教師と評された瀨中学校の橋本武先生(昭和9年同校奉職～昭和59年に同校退職)がその伝説の国語授業で使っていた小説です。橋本先生は、戦後、教科書を使わず本作品を授業に用い、一冊を3年間かけて読み込む授業を行っていたそうです。その理解と解釈の深い掘り下げ方に物語は遅々として進まず、生徒から「この進捗では200ページを3年で消化できないのでは」という声があがるが、橋本先生は「すぐ役に立つことは、すぐに役立たなくなる」としテーマの真髄に近づき問題をきちんと理解できるかどうか“学ぶ力の背骨”を生徒が物語から学ぶよう教鞭を取ったそうです。この時の教室にいた生徒に、東大総長・濱田純一、神奈川県知事・黒岩祐治、阪急電鉄代表取締役社長・角和夫、東京高等裁判所長官・山崎敏充、NHKエンタープライズ常務取締役国際事業センター長・平賀徹男、作家・中島らもらがいて、戦前の教え子には、作家の遠藤周作氏がいます。

【作者・中勸助氏について】明治末期から大正初頭にかけて執筆した小説『銀の匙』が、学生時代の恩師である夏目漱石の推挙を受けて「東京朝日新聞」に連載されたことで文壇に認められる。漱石門下のひとりに位置づけられる一方で、文壇の潮流とは一線を画した文学活動を維持したことから「孤高の作家」と評される。明治18年、東京神田生れ。一高をへて東京帝国大学英文科入学、その後、国文科に転じる。高校、大学時代、漱石の教えを受けた。信州野尻湖畔で孤高の生活を送っていたが、父の死と兄の重病という家族の危機に瀕し、1912年、処女作『銀の匙』を執筆。他に『提婆達多』『犬』といった幻想的な小説、『しづかな流』『街路樹』といった随筆がある。(参考：新潮社HPより)

7 日本全県の名所とスイーツめぐり…第21回は滋賀県です。

○名所 (参考：「ぐる旅」その他より)

◆琵琶湖テラス・・・琵琶湖を見下ろすようにそびえる打見山(1,108 m)と蓬萊山(1,174m)の間に、ゆったりと広がるびわ湖バレイ。関西で長年愛されてきたこのリゾートの、2つの山頂エリアでお楽しみいただけるのが、「びわ湖テラス」です。打見山の山頂に雄大に広がる「The Main」、蓬萊山の山頂で静かにくつろげる「Café 360」。それぞれの個性的なテラスから、日本一の湖の素晴らしい風景をご堪能いただけます。ネイチャーリゾートと言うべき特別な空間で、とびきり印象的なひとときを過ごせます。テラスがある山頂へは全面ガラス張りのロープウェイがご案内。

◆比叡山延暦寺・・・伝教大師最澄が比叡山に草庵を結んだことに始まる天台宗総本山。標高848 mの比叡山全域を境内とする寺院で、日本仏教の母山と言われている。広大な寺域は100余りの建造物があり、延暦寺の総本堂である根本中堂(国宝)や大講堂などがある「東塔」、最澄作の釈迦如来を本尊とする釈迦堂やにない堂などがある「西塔」、横川中堂や元三大師堂などがあり、静寂に包まれた「横川」の三つのエリアに分かれています。戦国時代に織田信長の焼き討ちにあいましたが、豊臣秀吉や徳川家康などにより復興され、平成6年に世界文化遺産に登録されました。

○スイーツ・土産

【アイアシェッケ】(ダブルベ・ボレロ)「ダブルベ・ボレロ」は、滋賀県守山市にある有名パティスリー。「アイアシェッケ」は、ドイツのドレスデン地方生まれのチーズケーキで、サブレ生地の上に、ラムレーズン入りのクリームチーズ層、バターとカスタードクリーム層にそぼろ状のクッキーをトッピングした4層仕立てのチーズケーキで、多くのメディアで紹介されている人気商品です。

【でっち羊羹】(和た与)「和た与」は、近江の地で創業して150年余りの老舗和菓子店。近江銘菓「でっち羊羹」と呼ばれる蒸し羊羹を生んだ名店です。海のない近江で、寒天の代わりに小麦粉を使用しているのが特徴で、こし餡と砂糖、小麦粉を練り合わせて天然の竹皮に手包みし、じっくり蒸して仕上げています。近江商人からも愛された伝統の銘菓を、滋賀土産にいかがですか。

8 保護者の皆様へ…コロナ感染予防・熱中症予防のご協力を。

週末の体育祭当日、体調不良(発熱・風邪症状等)の3年生の保護者の方は、参観をご遠慮ください。

【表面の問いの答】※「科挙(かきょ)」の試験とは、中国における官吏登用試験のことで、日本における公務員採用試験や司法試験のモデルになった試験制度と考えられています。隋の時代に始まり、清朝末まで約1300年間続きました。科挙という語は「(試験)科目による選挙」を意味します。科挙の競争率は非常に高く、時代によって異なりますが、最難関の試験であった進士科の場合、最盛期には約3000倍に達することもあったそうです。最終合格者の平均年齢も、時代によって異なり、おおむね36歳前後と言われ、中には70歳を過ぎてようやく合格できた例もありました。科挙は皇帝が直々に行う重要な国事だったため、その公正をゆるがすカンニングに対する罰則は極めて重く、犯情次第では死刑に処される場合もありました。賄賂で試験官を買収した大がかりな不正により、多数の関係者が集団死刑にされた事件などの記録も残っています。しかし、それでも科挙に合格できれば官僚としての地位と名声と富が約束されるとあって、科挙が廃止されるまでの約1300年間、厳重な監視にも関わらず様々な工夫をこらして不正合格を試みる者は後を絶ちませんでした。手のひらに収まるほどの小さなカンニング用の豆本や、数十万字に及ぶ細かい文字をびっしりと書き込んだカンニング用の下着が現代まで残っています。

①はばかり ②ひく ③のこす ④しめる ⑤しぼる ⑥したがう ⑦したがう ⑧しいる ⑨さわる ⑩さまたげる ⑪そびえる ⑫かこむ ⑬くらべる ⑭しげる ⑮しずめる ⑯しのぐ ⑰よろこぶ ⑱ゆだねる ⑲へる ⑳ふくれる

【参考】

〔漢詩の解釈〕李凝の幽居に題す 静かな住まいには近くに住む人も少なく、草の茂った小道は荒れた庭に続いている。鳥が池辺の樹の上に宿り、月明りの下で僧は門をたたく。橋を過ぎると野原が二手に分れ、石を踏みながら進むと立ちこめた霧が揺れ動く。暫く去ってまたここに帰ってこよう、一緒に隠居して静かに暮らす約束を破ったりしない。